

職員による自己評価

A環境面

- ・床にカラーテープを貼ったり、パーテーションで区切ったりすることで、広いスペースを上手く使えていると思う。
- ・ガラス（鏡）が多いので、活動内容によっては注意が必要だと思う。
- ・視覚になる部分やドアの施錠については、安全面で課題が残る。

B児童への支援内容

- ・児童の家庭環境にも気を配るなど、配慮が出来ていると思う。
- ・様々な年齢や特性をお持ちの子ども達がいる中で、集団でどう活動していくかが課題だと思う。
- ・好きな事だけでなく、協力して何かをする活動が必要だと思う。（制作活動など）

C関係機関との連携

- ・最近では学校の先生と、情報交換をする場が少ないと感じる。
- ・学校にお迎えに行った時、先生からの申し送りが、もう少しあった方が良く思う。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者の方々は、日々の出来事やこの先の不安などを、よく相談して下さる。
- ・保護者参加型のプログラムをもっと増やして、更に信頼関係を築けたらと思う。

E非常対応

- ・もっと避難訓練の回数を増やして、どの曜日の子ども達、スタッフも経験出来るようにした方がよいと思う。

保護者による評価

A環境面

- ・夏休みのお祭りの際、部屋が少し寒く感じた。かき氷など冷たい物を食べている時は、もう少し室内の設定温度を上げてほしい。

B児童への支援内容

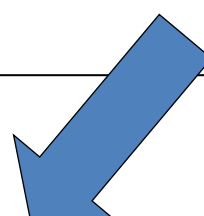
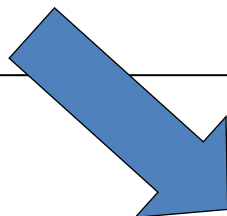
- ・いつも丁寧に子どもの様子を見てもらい、感謝している。
- ・発達の特徴をきちんと理解してもらい、問題があった時にも、スタッフの対応はいつもあたたかく素晴らしい。
- ・人数体制もしっかりしていて、いつも安心して楽しい時間を過ごさせてもらっている。
- ・本人（子ども）のコンディションにより、臨機応変に対応を変えてもらい、とても助かっている。

C事業所からの情報発信

- ・保護者の集まりなど、予定が合えばまた参加したいと思う。
- ・兄弟向けのイベントは無いように思うが、長期休みに兄弟も参加出来るイベントは開催されている。

D非常対応

- ・事故等は、まだ起きていない為分からない。



事業所内での分析

【共通点】

- ・広いフロアで、子ども達のがのびのびと活動出来ている。
- ・一人ひとりの特性や環境に応じて、支援することが出来ている。

【相違点】

- ・活動スペースが広がったからこそ感じる、スペースの使い方や集団活動の難しさ。
- ・緊急時の対応についての把握、安心（不安）感。
- ・保護者同士の交流や連携は取れているが、学校などの関係機関と情報交換が出来ていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・広いフロアを存分に活用し、室内でダンスやモルック等、身体を動かす活動を取り入れる事が出来ている。
- ・子ども達一人ひとりに向き合い、好きな事を取り入れた活動を提供することが出来る。
- ・コパンサロン(保護者会)の開催により、保護者の方同士の情報共有がしやすい環境づくりが出来ている。

事業所の改善点

- ・月に1度の避難訓練に加え、スタッフミーティングをきちんと行い、緊急時の対応について、繰り返し確認を行う。
- ・フロアが広い分、空調の調節が難しい。夏は特に熱中症に注意し、子ども達が安全に活動出来るように環境を整えていく。
- ・ご家族参加型のイベントを増やし、きょうだい児との交流を図る。

～事業所の改善への取り組み～

通所されている子どもはもちろん、ご家族の皆様にも安心してご利用いただけるよう、環境の整備や緊急時の対応について、力を入れる必要があると感じている。まだまだ、子ども達にもスタッフにも、安全面や緊急時の対応についての意識が根付いていない部分があるため、緊急時を想定した避難訓練には、これまで以上に力を入れる必要がある。全スタッフが責任感を持って、お子様の支援に当たるよう、意識を高めていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

子ども達との関わりの中で、好きな事や興味のある物を取り入れることで、良い支援に繋がっているということが、保護者からの声で分かった。引き続き、一人ひとりの特性に合った支援を行いつつ、集団での活動も行うなど、子ども達との関わりを大切にしていきたい。今年度はコパンサロンにも力を入れ、卒業生の保護者も含め、ご家庭との交流を深めることが出来た。今後も、子ども達だけでなく、ご家族の方にも寄り添いながら、安心して預けることのできる場所になれるよう、スタッフ全員で努力していきたい。

事業所名

コパン万騎が原

担当者

高部 桃香